

大漁節

□□□

一川つとせ 一番づつに積みたてて
 川口押し込む大矢声 この大漁船
 二つとせ ふたまの沖から外川まで
 続いて寄せ来る大いわし この大漁船
 三つとせ 賑やかな一同にまねをあげ
 通わせ船の賑やかさ この大漁船
 四つとせ 夜昼焚いても焚きあまる
 三ばい一せちよの大いわし この大漁船
 五つとせ 隙間も更にないもほしかばは
 空き間も隙間も更にないもほしかばは
 六つとせ 六つあから六つまで粕割が
 大割小割で手にあまる この大漁船
 七つとせ 名高き利根川高瀬舟
 粕やあぶらを積みおくる この大漁船
 八つとせ 八手の沖から若い衆が
 万祝衣そろえて宮まいり この大漁船
 九つとせ この浦守る川口の
 明神御利やくあらはせり この大漁船
 十とせ 十をかさねて百となり
 千をとせ 十を万漁年 ここの大漁船

大漁節

一つとせ

一番づつに積みたてて

川口押し込む大矢声

この大漁船

二つとせ

ふたまの沖から外川まで
続いて寄せ来る大いわし

この大漁船

三つとせ

みな一同にまねをあげ
通わせ船の賑やかさ

この大漁船



大漁節



四つとせ

夜昼焚いても焚きあまる
三ばいーちよの大いわし
この大漁船

五つとせ

いつ来てみてもほしかばは
空き間も隙間も更にならない
この大漁船

六つとせ

六つから六つまで粕割が
大割小割で手にあまる
この大漁船

大漁節

七つとせ

名高き利根川高瀬舟
粕やあぶらを積みおくる

この大漁船

八つとせ

八手の沖から若い衆が
万祝衣そろえて宮まいり

この大漁船

九つとせ

この浦守る川口の
明神御利やくあらはせり

この大漁船

十とせ 十をかさねて百となり
千をとびこす万漁年 この大漁船

End